

インストール・ガイド



目次

第 1 章. IBM SPSSMA Enterprise Marketing Edition: インストール・ガイド	1
インストールの概要.....	1
インストール・ロードマップ.....	1
インストーラーの機能.....	3
インストールのモード.....	3
IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition の資料とヘルプ.....	4
Unica Campaign および Unica Optimize のインストールの計画.....	5
前提条件.....	5
Unica Campaign および Unica Optimize のインストール.....	8
DB2 データベースの構成.....	9
IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition をインストールする前に.....	10
GUI モードを使用した IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition のインストール.....	12
Unica Campaign および Unica Optimize のサイレント・インストール.....	18
コンソール・モードを使用した Unica Campaign および Unica Optimize のインストール.....	19
インストールの完了.....	21
UNIX™ での IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition リスナー・プロセスの始動.....	22
インストール後の IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition の構成.....	23
管理対象サーバー接続の作成.....	23
Unica Campaign および Unica Optimize のアンインストール.....	25

第1章. IBM SPSSMA Enterprise Marketing Edition: インストール・ガイド

このガイドでは、製品をインストールおよび構成する方法について示します。

インストールの概要

HCL Unica 製品のインストールは、HCL Unica 製品をインストール、構成、および配置したときに完了します。インストール・ガイドには、製品のインストール、構成、および配置の詳細が説明されています。

『インストール・ロードマップ』セクションを使用すると、「インストール・ガイド」の使用について幅広く理解することができます。

インストール・ロードマップ

インストール・ロードマップを使用して、IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition をインストールするために必要な情報を素早く見つけることができます。

[表 1: IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストールのロードマップ\(1 ページ\)](#) で、IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition をインストールするために実行する必要があるタスクの順序を確認できます。

表 1. IBM® SPSS® Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストールのロードマップ

フェーズ	詳細	資料
1. オペレーティング・システム・ソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。	サポートされるオペレーティング・システムは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• Unix• Linux• Windows Microsoft Windows Server 2012R2 は 64 ビット・プラットフォームです。32 ビット・バージョンはありません。	ご使用のオペレーティング・システムの資料を参照してください。
2. データベース・サーバーをインストールまたはアップグレードします。	DB2 Enterprise Server Edition バージョン 10.1 FP 2 ランタイム環境では、いくつかのデータベースが必要になることがあります。	DB2 データベースの構成(9 ページ) を参照してください。また、「Unica Platform インストール・ガイド」または「Unica

表 1. IBM® SPSS® Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストールのロードマップ

(続く)


フェーズ	詳細	資料
3. アプリケーション・サーバーをインストールまたはアップグレードします。	<p>サポートされるアプリケーション・サーバーは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Oracle WebLogic • WebSphere バージョン 8.5 <p>Unica インストーラーを使用すると、Unica を実行するように自動的に WebSphere Application Server が構成されます。</p>	<p>Platform アップグレード・ガイド」も参照してください。</p> <p>アプリケーション・サーバーの資料を参照してください。</p>
4. Unica Platform バージョン 9.1 をインストールまたはアップグレードします。	<p> 注: WebSphere がシャットダウンしていることを確認してからインストールを開始してください。</p>	<p>「Unica Platform インストール・ガイド」または「Unica Platform アップグレード・ガイド」を参照してください。</p>
5. Unica Campaign バージョン 9.1 をインストールまたはアップグレードします。	<p>インストールの方法が 3 つあります。GUI、コンソール、およびサイレント・インストール・モードです。</p>	<p>「Unica Campaign インストール・ガイド」または「Unica Campaign アップグレード・ガイド」を参照してください。</p>
6. IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition バージョン 8.0 をインストールします。	<p>インストールの方法が 3 つあります。GUI、コンソール、およびサイレント・インストール・モードです。</p>	<p>Unica Plan のインストール(ページ) のトピックを参照してください。</p>
7. インストールを完了します。		<p>インストールの完了(21 ページ) を参照してください。</p>

表 1. IBM® SPSS® Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストールのロードマップ

(続く)

フェーズ	詳細	資料
8. SPSS® リスナーを開始します。		UNIX での IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition リスナー・プロセスの始動(22 ページ) を参照してください。
9. SPSS® Deployment Manager をインストールし、接続を構成します。		インストール後の IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition の構成(23 ページ) のトピックを参照してください。
10. 統合を構成します。		「Unica Campaign および IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition 統合ガイド」の第 2 章を参照してください。

インストーラーの機能

どの Unica 製品をインストールまたはアップグレードする場合も、スイート・インストーラーおよび製品インストーラーを使用する必要があります。例えば、Unica Campaign と Unica Optimize をインストールするには、Unica スイート・インストーラーと Unica Campaign インストーラーを使用する必要があります。

Unica スイート・インストーラーおよび製品インストーラーを使用する前に、以下のガイドラインを確認してください。

- Unica インストーラーおよび製品インストーラーは、製品のインストール先のコンピューターの同じディレクトリーにある必要があります。ディレクトリー内に Unica インストーラーとともに複数のバージョンの製品インストーラーがある場合、Unica インストーラーは常に製品の最新バージョンを、インストール・ウィザードの Unica 製品画面に表示します。
- Unica 製品のインストール直後にパッチをインストールする場合は、パッチのインストーラーがスイートおよび製品のインストーラーと同じディレクトリーにあるようにしてください。
- Unica インストールのデフォルトの最上位ディレクトリーは /HCL/Unica (UNIX™) または C:\HCL\Unica (Windows™) です。ただし、このディレクトリーはインストール時に変更できます。

インストールのモード

Unica スイート・インストーラーは、GUI モード、X Window System モード、コンソール・モード、またはサイレント・モード (無人モードとも呼ぶ) のいずれかのモードで実行できます。Unica をインストールする際は要件に見合ったモードを選択してください。

アップグレードの場合は、初期インストール時に実行するタスクと同じ多くのタスクをインストーラーを使用して実行します。

GUI X Window System モード


グラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して Unica をインストールするには、Windows™ の GUI モード、または UNIX™ の X Window System モードを使用します。

UNIX™ X Window System モード

グラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して Unica をインストールするには、UNIX™ の X Window System モードを使用します。


コンソール・モード

コマンド・ライン・ウィンドウを使用して Unica をインストールするには、コンソール・モードを使用します。

 **注:** コンソール・モードでインストーラー画面を正しく表示するには、UTF-8 文字エンコードをサポートするように端末ソフトウェアを構成してください。ANSI などその他の文字エンコードでは、テキストが正しくレンダリングされず、一部の情報が読み取れなくなります。

サイレント・モード

Unica を複数回インストールするには、サイレント・モード (無人モード) を使用します。サイレント・モードは、インストールに応答ファイルを使用し、インストール・プロセスの間にユーザー入力を必要としません。

 **注:** クラスター化された Web アプリケーションやクラスター化されたリスナー環境では、サイレント・モードはアップグレード・インストールでサポートされていません。

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition の資料とヘルプ

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition では、ユーザー、管理者、および開発者を対象とした資料とヘルプを用意しています。

表 2. 起動して稼働状態にする

タスク	資料
新機能、既知の問題、および回避策を表示する。	IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition リリース・ノート
統合を構成します。	Unica Campaign および IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition 統合ガイド

表 3. ヘルプの取得

タスク	指示
オンライン・ヘルプを開く。	<ol style="list-style-type: none"> 「ヘルプ」 > 「このページのヘルプ」を選択して、コンテキスト・ヘルプのトピックを開きます。 ヘルプ・ウィンドウの「ナビゲーションの表示」アイコンをクリックすると、ヘルプ全体が表示されます。 <p>オンラインのコンテキスト・ヘルプを表示するには、Web アクセスが必要です。オフライン資料として Knowledge Center をローカルで利用する方法、およびインストールする方法については、サポートにお問い合わせください。</p>
PDFの入手。	<p>以下のいずれかの方法に従います:</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ヘルプ」 > 「製品資料」を選択して、Unica Campaign の PDF にアクセスします。 「ヘルプ」 > 「Unica Suite のすべての資料」を選択して、使用可能なすべての資料にアクセスします。

Unica Campaign および Unica Optimize のインストールの計画

Unica Campaign および Unica Optimize のインストールを計画している場合、システムが正しくセットアップされていること、環境が障害に対処できるように構成されていることを確認する必要があります。

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition コンポーネント

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition には以下のコンポーネントがあります。

- IBM® Analytical Decision Management (Modeler Advantage を含む)
- IBM® SPSS® Modeler Server Professional (Modeler Client を含まない)
- IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services (C&DS)

前提条件

Unica 製品をインストールまたはアップグレードするには、その前に、ご使用のコンピューターがすべてのソフトウェアおよびハードウェアの前提条件を満たしていることを確認する必要があります。

eMessage プロセス・ボックスでのフローチャート

eMessage プロセス・ボックスで使用中のフローチャートがある場合は、v12.1 にアップグレードする前に、このプロセス・ボックスをフローチャートから削除する必要があります。古い eMessage プロセス・ボックスを使用した Campaign フローチャートは、v12.1 では機能しません。

システム要件

サポートされるバージョンについては、「推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」を参照してください。

ネットワーク・ドメイン要件

スイートとしてインストールされる Unica 製品は同じネットワーク・ドメインにインストールする必要があります。これは、クロスサイト・スクリプティングで生じ得るセキュリティー・リスクを制限することを目的としたブラウザ制限に準拠するためです。

! **重要:** 最高のパフォーマンスを得るには、Optimize セッションを実行するために Campaign リスナーを専用のシステムにインストールし、そこに他の Unica 製品をインストールしないでください。Unica Optimize には大量の計算およびデータ処理リソースが必要です。Unica Optimize を専用環境で作動させると、パフォーマンス調整において最大の制御性と柔軟性を得られます。

JVM 要件

スイート内の Unica アプリケーションは、専用の Java™ 仮想マシン (JVM) に配置する必要があります。Unica 製品は Web アプリケーション・サーバーにより使用される JVM をカスタマイズします。

知識要件

Unica 製品をインストールするには、製品をインストールする環境全般に関する知識が必要です。この知識には、オペレーティング・システム、データベース、および Web アプリケーション・サーバーに関する知識が含まれます。

インターネット・ブラウザ設定


ご使用のインターネット・ブラウザが、以下の設定に準拠していることを確認してください。

- ブラウザーで Web ページをキャッシュしない。
- ブラウザーはポップアップ・ウィンドウをブロックしてはなりません。

アクセス権限

インストール作業を完了するため、以下のネットワーク権限を保持していることを確認してください。

- 必要なすべてのデータベースに対する管理権限。

 **注:** 管理者は、テーブルとビューの両方に関する CREATE、SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE、および DROP 権限がなければなりません。


- Web アプリケーション・サーバーおよび Unica コンポーネントを実行するために使用するオペレーティング・システム・アカウントの関連ディレクトリーおよびサブディレクトリーに対する読み取りおよび書き込みアクセス権限。
- 編集する必要があるすべてのファイルに対する書き込み権限。
- インストール・ディレクトリーやバックアップ・ディレクトリー (アップグレードを行う場合) など、ファイルを保存する必要があるすべてのディレクトリーに対する書き込み権限。
- インストーラーを実行するための適切な読み取り、書き込み、および実行権限。

Web アプリケーション・サーバーの管理パスワードを保持していることを確認してください。

UNIX™ の場合、製品のすべてのインストーラー・ファイルはフル権限 (例えば、rwxr-xr-x) が必要です。

UNIX™ の場合、以下の追加の権限が必要です。

- Campaign および Unica Platform をインストールするユーザー・アカウントは、Unica Campaign ユーザーと同じグループのメンバーでなければなりません。このユーザー・アカウントには、有効なホーム・ディレクトリーがなければならず、そのディレクトリーに対する書き込み権限も必要です。
- HCL Unica 製品のすべてのインストーラー・ファイルはフル権限 (例えば、rwxr-xr-x) が必要です。

 **注:** バージョン 12.0.0 以降の場合、Optimize セッションを実行するには、ユーザーがライセンスを申請する必要があります。詳しくは、HCL のサポート・チームまたは販売チームにお問い合わせください。

インストール前の考慮事項 Unica Campaign

Unica Campaign のインストールの場合、以下の点を考慮する必要があります。

JAVA_HOME 環境変数

Unica 製品をインストールするコンピューターに JAVA_HOME 環境変数が定義されている場合、サポートされる JRE のバージョンがこの変数で指定されていることを確認してください。サポートされるバージョンについては、「Unica 推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」を参照してください。

JAVA_HOME 環境変数が正しくない JRE を指している場合、Unica インストーラーを実行する前に、その JAVA_HOME 変数をクリアする必要があります。

以下のいずれかの方法により、JAVA_HOME 環境変数をクリアできます。

- Windows™: コマンド・ウィンドウで、set JAVA_HOME= (空のままにする) と入力して、**Enter** キーを押します。
- UNIX™: 端末で、export JAVA_HOME= (空のままにする) と入力して、**Enter** キーを押します。

端末で次のコマンドを実行して、JAVA_HOME 環境変数をクリアできます。


```
export JAVA_HOME=(空のままにする)
```


Unica インストーラーは、Unica インストール環境の最上位ディレクトリーに JRE をインストールします。個々の Unica アプリケーションのインストーラーは、JRE をインストールしません。その代わりに、Unica インストーラーによってインストールされた JRE の場所を指定します。すべてのインストールが完了した後に環境変数を再設定することができます。

サポートされる JRE について詳しくは、「Unica の推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」ガイドを参照してください。

Unica Platform 要件

Unica 製品をインストールまたはアップグレードする前に、Unica Platform をインストールまたはアップグレードする必要があります。一緒に機能する製品のグループごとに、Unica Platform を 1 回だけインストールまたはアップグレードする必要があります。各製品インストーラーは、必要な製品がインストールされているかどうかを検査します。ご使用の製品またはバージョンが Unica Platform に登録されていない場合、インストールを続行する前に、Unica Platform をインストールまたはアップグレードすることを求めるメッセージが表示されます。「**設定**」 > 「**構成**」 ページでプロパティを設定する前に、Unica Platform が配置され実行している必要があります。

 **注:** UNIX にインストールする場合、Web アプリケーション・サーバーで、`Djava.awt.headless` プロパティを `true` に設定しなければならないことがあります。この設定は、Unica Optimize レポートを表示できない場合にのみ必要です。詳しくは、「Unica Campaign インストール・ガイド」を参照してください。Unica Optimize は Unica Campaign システム・テーブル・データ・ソースを使用するので、Unica Optimize 用に追加のデータ・ソースを準備する必要はありません。


 **注:** バージョン 12.0.0 以上の場合、データベース・タイプ Informix は機能しないため、選択しないでください。バージョン 12.1.0.3 以上では、ユーザーは OneDB データベースをシステム・テーブルおよびユーザー・テーブルとして使用できます。詳しくは、「Unica V12.1.0.3 インストール・ガイド (OneDB 用)」を参照してください。


Unica Campaign および Unica Optimize のインストール

Unica Campaign および Unica Optimize のインストールを開始するには、Unica インストーラーを実行する必要があります。Unica インストーラーにより、インストール・プロセス中に製品のインストーラーが開始されます。Unica インストーラーと製品インストーラーが同じ場所に保存されていることを確認してください。

Unica スイート・インストーラーを実行するたびに、まず Unica Platform システム・テーブルに関するデータベース接続情報を入力する必要があります。Unica Campaign インストーラーが開始するときに、Unica Campaign に必要な情報を入力する必要があります。

Unica Campaign および Unica Optimize インストールした後で、製品の EAR ファイルを作成し、製品のレポート・パッケージをインストールすることができます。EAR ファイルの作成およびレポート・パッケージのインストールは、必須のアクションではありません。


 **重要:** AIX オペレーティング・システムにインストールする場合は、Unica Campaign および Unica Optimize をインストールする前に、root 資格情報を使用して `-slibclean` コマンドを実行します。

 **注:** Campaign アプリケーションに SSL を実装することを計画している場合。詳しくは、「Platform 管理者ガイド」の『片方向 SSL の実装』セクションを参照してください。

インストール・ファイル

インストール・ファイルは、製品のバージョンおよびその製品をインストールする必要のあるオペレーティング・システム (UNIX™ を除く) に従って命名されます。UNIX™ の場合、X Window System モードとコンソール・モードでは、インストール・ファイルが異なります。

次の表に、製品のバージョンとオペレーティング・システムに従って命名されたインストール・ファイルの例を示します。

 **注:** Suse Linux オペレーティング・システムの場合、対応する製品 Linux ビルドを使用します (Unica Campaign を除く)。



 **注:** :EAR デプロイメントは Tomcat アプリケーション・サーバーではサポートされません

表 4. インストール・ファイル

オペレーティング・システム	インストール・ファイル
Windows™: GUI およびコンソール・モード	<p><i>Product_N.N.N.N_win64.exe</i>、ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号であり、ファイルのインストール先オペレーティング・システムは Windows™ 64 ビット版でなければなりません。</p> <p><i>Product_N.N.N.N_win.exe</i>、</p> <p>ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号であり、ファイルのインストール先オペレーティング・システムは Windows™ 64 ビット版でなければなりません。</p>
UNIX™: X Window System モード	<p><i>Product_N.N.N.N_linux.bin</i>、ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号です。</p> <p><i>Product_N.N.N.N_linux.bin</i>、ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号です。</p> <p><i>Product_N.N.N.N_linuxrhel64.bin</i>、ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号です。</p>
UNIX™: コンソール・モード	<p><i>Product_N.N.N.N.bin</i>、ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号です。すべての UNIX™ オペレーティング・システムで、このファイルをインストールに使用できます。</p>
SuSE Linux	<p><i>Product_N.N.N.N_linuxsuse64.bin</i>、ここで、<i>Product</i> はご使用の製品の名称、<i>N.N.N.N</i> はその製品のバージョン番号です。すべての™ SUSE Linux オペレーティング・システムで、このファイルをインストールに使用できます。</p>

DB2 データベースの構成

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition システム・テーブルを保管するためのデータベースを作成して構成する必要があります。

 **注:** 以下の手順の DB2 ユーザーとスキーマ名 **WPADMIN** は例です。DB2 のデフォルト管理者ログイン **DB2ADMIN** ですべてをインストールすることができます。データベースごとの別個のスキーマとユーザーでインス

トールすると、管理と権限付与が簡素になります。DB2 では、データベースに接続しているユーザーがユーザー自身にアクセス権を付与することは許可されません。

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition および Unica Campaign の統合のために DB2 データベースを構成するには、以下のようになります。

1. ユーザー **WPADMIN**、スキーマ **WPADMIN** で、IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition システム・テーブルを保管するための **SPSSMAME** というデータベースを作成します。
2. 以下のサンプル SQL ステートメントに示されているように、データベースを適切に構成します。

```
/* SPSS MAME Database Creation Script */
CREATE DATABASE SPSSMAME ON DB2 USING CODESET UTF-8 TERRITORY
US COLLATE USING SYSTEM;

CONNECT TO SPSSMAME;

CREATE BUFFERPOOL CDS8K IMMEDIATE SIZE 250 AUTOMATIC PAGESIZE 8 K;

CREATE REGULAR TABLESPACE CDS8K PAGESIZE 8 K MANAGED BY AUTOMATIC STORAGE
EXTENTSIZE 8 OVERHEAD 10.5 PREFETCHSIZE 8 TRANSFERRATE 0.14 BUFFERPOOL CDS8K
DROPPED TABLE RECOVERY ON;

COMMENT ON TABLESPACE CDS8K IS '';

CREATE BUFFERPOOL CDSTEMP IMMEDIATE SIZE 250 PAGESIZE 32 K;

CREATE SYSTEM TEMPORARY TABLESPACE CDSTEMP PAGESIZE 32 K MANAGED BY AUTOMATIC
STORAGE EXTENTSIZE 16 OVERHEAD 10.5 PREFETCHSIZE 16 TRANSFERRATE 0.14
BUFFERPOOL "CDSTEMP";

COMMENT ON TABLESPACE CDSTEMP IS '';

CONNECT RESET;
```

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition をインストールする前に

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストールを開始する前に、以下の情報を確認してください。

- ご使用のデータベース・スキーマに合うサーバー情報と、ご使用の WebSphere または Web Logic サーバーのプロファイル・ディレクトリーへのパスが必要です。以下は、指定する必要がある情報の例です。

```
-Database
-Database type : db2
-Database host : localhost
-Database port : 50000
-Database username : db2inst1
-Database name : SPSSMAME

-Application server
-Application server type : websphere
```

```

-Server installation directory path : /opt/IBM/WebSphere/AppServer
-JVM path : /opt/IBM/WebSphere/AppServer/java
-WebSphere profile : /opt/IBM/WebSphere/AppServer/profiles/AppSrv01
-WebSphere server name : server1
-WebSphere node : localhostNode01
-Admin security enabled : true
-Application server username : admin

-Keystore
  -Reuse keystore : false

-Deployment mode
  -Deployment : Automatic

```

- 要求された場合は必ずパスワードを指定してください。
- インストーラー・コード・モジュールが含まれているルート・ディレクトリー (例えば C:\Installers\IMS) があることを確認してください。
- installers ディレクトリーにある IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition インストール・パッケージをコピーしてください。

インストール中

インストール中に、以下の警告が表示されることがあります。

```

(<unknown>:38376): Gtk-WARNING **: Unable to locate theme engine in module_path:
"clearlooks",

```

このようになっても正常なインストールには影響しません。

インストール後

インストールが完了すると、以下の要約画面が表示されます。

```
root@localhost:~/installers/marketing/installer
File Edit View Search Terminal Help

SPSS Collaboration and Deployment Services and IBM Analytical Decision
Management were installed successfully.
See Installation log
/root/IBM/EMM/IBM_SPSS_MA_Marketing_Edition/SPSS_CDS_installLog.xml for details

SPSS Collaboration and Deployment Services was configured with errors.
See configuration log
/root/IBM/EMM/IBM_SPSS_MA_Marketing_Edition/configTool.log for details.

SPSS Modeler Server was installed successfully.

PRESS <ENTER> TO CONTINUE:

=====
Installation Complete
-----

You have successfully installed your IBM SPSS Modeler Advantage Marketing
Edition products at this location: /root/IBM/EMM/IBM_SPSS_MA_Marketing_Edition

See the installation log for details:
/root/IBM/EMM/IBM_SPSS_MA_Marketing_Edition/IBM_EMM_SPSS_Install_<MM_DD_YYYY_HH
_MM_SS>.log

Standard error and output logs are located in the following directories:
/root/IBM_SPSS_stderr.log
/root/IBM_SPSS_stdout.log

PRESS <ENTER> TO EXIT THE INSTALLER: █
```

GUI モードを使用した IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition のインストール

Windows™ では、GUI モードを使用して、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition をインストールします。UNIX™ では、X Window System モードを使用して、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition をインストールします。

Unica インストーラーおよび IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラーが IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition をインストールするコンピューター上の同じディレクトリーに存在していることを確認します。

IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition をインストールする前に、必ず以下の要素を構成しておいてください。

- アプリケーション・サーバー・プロファイル
- データベース・スキーマ

アプリケーション・サーバーの構成について詳しくは、「IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services (C&DS) Guide」の『Configuration』を参照してください。

以下のアクションを完了し、GUI モードを使用して、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition をインストールします。

1. Unica インストーラーを保存したフォルダーに移動して、インストーラーをダブルクリックして開始します。
2. 最初の画面で「OK」をクリックして、「概要」ウィンドウを表示します。
3. インストーラーの指示に従って、「進む」をクリックします。
次の表の情報を参考にしながら、Unica インストーラーの各ウィンドウで適切な操作を行います。

表 5. Unica インストーラーの GUI

ウィンドウ	説明
概要	Unica スイートのインストーラーの最初の画面です。このウィンドウから「IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストール・ガイド」を開くことができます。 「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。
応答ファイルの宛先	製品の応答ファイルを生成する場合には、「応答ファイルを生成する」チェック・ボックスをクリックします。応答ファイルには、製品のインストールに必要な情報が保管されています。応答ファイルを使用して無人インストールを行うことができます。 「選択」をクリックして、応答ファイルを格納する場所を参照できます。 「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。
Unica 製品	「インストール・セット」リストで、「カスタム」を選択してインストールする製品を選択します。 「インストール・セット」領域には、インストール・ファイルがコンピューターの同じディレクトリーにあるすべての製品が表示されます。 「説明」フィールドには、「インストール・セット」領域で選択した製品についての説明が表示されます。 「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。
インストール・ディレクトリー	「選択」をクリックして、Unica をインストールするディレクトリーを参照します。 「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。
アプリケーション・	インストールのために以下のいずれかのアプリケーション・サーバーを選択します。

ウィンドウ	説明
サーバーの選択	<ul style="list-style-type: none"> • IBM® WebSphere® • Oracle WebLogic <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
Platform データベースのタイプ	<p>適切な Marketing Platform データベースのタイプを選択します。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>

Platform データベース接続	<p>データベースに関する以下の情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データベースのホスト名 • データベース・ポート • データベース名またはシステム ID (SID) • データベース・ユーザー名 • データベース・パスワード <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
-------------------	--

! **重要:** Unica 製品が分散環境にインストールされている場合、スイートに属するすべてのアプリケーションのナビゲーション URL では IP アドレスではなく、マシン名を使用する必要があります。また、クラスター環境において、配置にデフォルトのポート 80 または 443 とは異なるポートを使用する場合は、このプロパティの値にポート番号を使用しないでください。

JDBC 接続を検討して確認します。

「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。

プリインストールのサマリー	<p>インストール・プロセスで追加した値を検討して確認します。</p> <p>「インストール」をクリックして、インストール・プロセスを開始します。</p>
---------------	---

4. IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラーが開きます。以下の表にある情報を使用して、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラーをナビゲートします。

表 6. IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラー GUI


ウィンドウ	説明
概要	<p>これは、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラーの最初のウィンドウです。このウィンドウから「IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストール・ガイド」を開くことができます。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>

ウィンドウ	説明
ソフトウェアのご使用条件	使用条件を注意深くお読みください。「印刷」を使用すると、この使用条件を印刷できます。使用条件を受け入れてから、「進む」をクリックします。
IBM SPSS MA Marketing Edition コンポーネント (IBM SPSS MA Marketing Edition Components)	<p>インストールするコンポーネントを選択します。以下のリストから1つ以上のコンポーネントを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SPSS® Collaboration and Deployment Services (CnDS)。 <p>「SPSS C&DS サーバーのインストール」および「SPSS C&DS サーバー構成」チェック・ボックスを選択し、SPSS® C&DS ツールを使用可能にして、C&DS を一度にインストールし構成します。</p> <p>SPSS® C&DS を後で構成する場合、「SPSS C&DS サーバー構成」チェック・ボックスを選択しないでください。</p> • SPSS® Modeler サーバー • SPSS® Decision Management <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
インストール・ディレクトリー	<p>「選択」をクリックして、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition をインストールするディレクトリーを参照します。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
プリインストールのサマリー	<p>インストール・プロセスで追加した値を検討して確認します。</p> <p>「インストール」をクリックして、インストール・プロセスを開始します。</p> <p>「IBM SPSS MA Marketing Edition のインストール」ウィンドウでインストール・プロセスを表示できます。IBM® SPSS® Modeler Server のインストール中に、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services 構成ツール (C&DS 構成ツール) が開きます。</p>

5. 以下の表の情報を使用して、「IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 構成ツール」ウィンドウにナビゲートします。

表 7. IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services 構成ツールの GUI

ウィンドウ	説明
ようこそ	「次へ」をクリックして、構成を開始します。
アプリケーション・サーバー	<p>以下のアプリケーション・サーバーのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IBM® WebSphere® • Oracle WebLogic • JBoss

ウィンドウ	説明
	<p> 重要: IBM® は、JBoss を使用する IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストールをサポートしないため、「JBoss」は選択しないでください。</p> <p>ご使用のアプリケーション・サーバーに該当する情報を構成します。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
データベース	<p>「データベース・タイプ」フィールドで、データベース・タイプを選択します。</p> <p>以下の情報を対応するフィールドに入力します。t</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホスト名 • ポート • データベース名 • ユーザー名 • パスワード <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
既存のデータ (Existing data)	<p>データベースに既存のデータが含まれている場合、対応するチェック・ボックスを選択して、以下のアクションのいずれかを完了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既存のデータを保存する • 既存のデータを消去する <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
暗号化 (Encryption)	<p>Java™ 仮想マシン (JVM) にパスワードを割り当てるか、または「既存の鍵ストアの再使用」チェック・ボックスを選択して、既存の鍵ストアを使用します。「既存の鍵ストアの再使用」チェック・ボックスを選択する場合、「鍵ストア・パス」フィールドで、鍵ストア・ファイルを参照し、選択する必要があります。</p> <p>「鍵ストア」について詳しくは、「IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services (C&DS) Guide」の章『Installation』にある『Configuration』を参照してください。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
リポジトリ管理 (Repository Admin)	<p>リポジトリ管理者のパスワードを入力します。</p> <p>管理ユーザーについて詳しくは、「IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services (C&DS) Guide」の章『Installation』にある『Configuration』を参照してください。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
デプロイメント・モード	<p>「自動」ラジオ・ボタンを選択していることを確認してください。</p> <p>「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>

ウィンドウ	説明
(Deployment mode)	
構成の要約 (Configuration summary)	<p>選択した値を検討します。</p> <p>「構成」 をクリックして、デプロイメントおよび構成を開始します。</p> <p>デプロイメントおよび構成のプロセスは、完了するのに数分必要な場合があります。デプロイメントおよび構成が完了した後、「インストール完了」 ウィンドウが IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラーに表示されます。</p>
構成が正常に行われました (Configuration successful)	<p>「終了」 をクリックして、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services 構成ツールを終了します。</p>

6. **「SPSS Components のインストールの要約」** ウィンドウで、**「完了」** をクリックして、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition インストーラーを終了し、Unica インストーラーに戻ります。
 7. Unica インストーラーの指示に従って、IBM® SPSS® Modeler Advantage Marketing Edition のインストールを終了します。
- 以下の表にある情報を使用して、Unica インストーラーの各ウィンドウで該当するアクションを実行します。

表 8. Unica インストーラーの GUI

ウィンドウ	説明
デプロイメント EAR ファイル	<p>Unica 製品を配置するために、エンタープライズ・アーカイブ (EAR) ファイルを作成するかどうかを指定します。</p> <p>「進む」 をクリックして、次のウィンドウに移動します。</p>
EAR ファイルのパッケージ化	<p>「デプロイメント EAR ファイル」 ウィンドウで 「デプロイメントのために EAR ファイルを作成します」 を選択した場合、このウィンドウが表示されます。</p> <p>EAR ファイルにパッケージ化するアプリケーションを選択します。</p>
EAR ファイルの詳細	<p>EAR ファイルに関する以下の情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エンタープライズ・アプリケーション ID • 表示名 • 説明 • EAR ファイル・パス
EAR ファイルの詳細 (続き)	<p>「はい」 または 「いいえ」 を選択して、追加の EAR ファイルを作成します。「はい」 を選択した場合、新しい EAR ファイルに関する詳細を入力する必要があります。</p> <p>「進む」 をクリックして、製品のインストールを完了します。</p>

ウィンドウ	説明
デプロイメント EAR ファイル	別の EAR ファイルを作成して Unica 製品をデプロイするかどうかを指定してください。
ル	「進む」をクリックして、次のウィンドウに移動します。
インストール完了	このウィンドウには、インストールで作成したログ・ファイルの場所が示されます。いずれかのインストール詳細を変更する場合は、「戻る」をクリックします。「完了」をクリックして、Unica インストーラーを閉じます。

SPSS® を手動でデプロイすることについて詳しくは、「IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services (C&DS) Guide」の章『Installation』にある『Manual deployment』を参照してください。

Unica Campaign および Unica Optimize のサイレント・インストール

Unica Campaign および Unica Optimize を複数回インストールするには、サイレント・モード (無人モード) を使用します。

Unica Campaign および Unica Optimize をインストールする前に、必ず以下の要素を構成しておいてください。

- アプリケーション・サーバー・プロファイル
- データベース・スキーマ

サイレント・モードを使用して Unica Campaign および Unica Optimize をインストールするときには、インストール中に必要な情報を取得するために応答ファイルが使用されます。製品をサイレント・インストールするには、応答ファイルを作成する必要があります。応答ファイルは、以下のいずれかの方法によって作成できます。

- 応答ファイル作成時のテンプレートとして、サンプル応答ファイルを使用します。サンプル応答ファイルは、ご使用の製品インストーラーの ResponseFiles 圧縮アーカイブに含まれています。サンプル応答ファイルについて詳しくは、[サンプル応答ファイル\(20 ページ\)](#)を参照してください。
- 製品をサイレント・モードでインストールするには、その前に、GUI (Windows™) モード、X Window System (UNIX™) モード、またはコンソール・モードで製品インストーラーを実行します。Unica 스위트・インストーラー用の応答ファイルが 1 つ、製品インストーラー用の応答ファイルが 1 つ以上作成されます。ファイルは、ユーザーの指定したディレクトリー内に作成されます。

! **重要:** セキュリティー上の理由で、インストーラーはデータベース・パスワードを応答ファイルに保存しません。応答ファイルを作成するときは、各応答ファイルを編集してデータベース・パスワードを入力する必要があります。各応答ファイルを開いて PASSWORD を検索し、この応答ファイルの編集を行う必要のある場所を見つけます。

サイレント・モードで実行するとき、インストーラーは順番に以下のディレクトリーで応答ファイルを探します。

- Unica インストーラーが保存されているディレクトリー内
- 製品をインストールするユーザーのホーム・ディレクトリー内。

すべての応答ファイルを、必ず同じディレクトリーに入れてください。コマンド・ラインに引数を追加することによって、応答ファイルを読み取るためのパスを変更できます。例: `-DUNICA_REPLAY_READ_DIR="myDirPath" -f myDirPath/installer.properties`

Windows™ の場合、次のコマンドを使用します。

- `HCL_Unica_installer_12.1.0.0 -i silent`

例:

`HCL_Unica_installer_12.1.0.0_win.exe -i silent`

Linux™ の場合、次のコマンドを使用します。

- `HCL_Unica_installer_12.1.0.0_operating_system .bin -i silent`

例:

`HCL_Unica_installer_12.1.0.0_linux.bin -i silent`

コンソール・モードを使用した Unica Campaign および Unica Optimize のインストール

コンソール・モードを使用すると、コマンド・ライン・ウィンドウを使用して Unica Campaign および Unica Optimize をインストールできます。コマンド・ライン・ウィンドウでは、各種オプションを選択して、インストールする製品の選択や、インストール用のホーム・ディレクトリーの選択などのタスクを実行できます。

Unica Campaign および Unica Optimize をインストールする前に、必ず以下を構成しておいてください。

- アプリケーション・サーバー・プロファイル
- データベース・スキーマ

コンソール・モードでインストーラー画面を正しく表示するには、UTF-8 文字エンコードをサポートするように端末ソフトウェアを構成してください。ANSI などその他の文字エンコードではテキストが正しくレンダリングされず、これらの文字エンコードを使用した一部の情報が読み取れなくなります。

1. コマンド・ライン・プロンプト・ウィンドウを開いて、Unica インストーラーと Unica Campaign インストーラーを保存したディレクトリーにナビゲートします。

2. 以下のアクションのいずれか 1 つを実行して、Unica インストーラーを実行します。

- Windows™ の場合、次のコマンドを入力します。

`HCL_Unica_installer_12.0.0.0 -i console`

例えば、`HCL_Unica_Installer_12.0.0.0_win.exe -i console`

- UNIX™ の場合、`HCL_Unica_installer_12.0.0.sh` ファイルを呼び出します。

例: `HCL_Unica_installer_12.0.0.0.sh`

3. コマンド・ライン・プロンプトに表示される指示に従ってください。コマンド・ライン・プロンプトでオプションを選択しなければならないときは、以下のガイドラインを使用します。

- デフォルト・オプションはシンボル [X] で定義されます。
- オプションを選択またはクリアするには、そのオプションに定義されている番号を入力して、Enter キーを押します。


例えば、インストール可能なコンポーネントが以下のリストに表示されていると想定します。

- 1 [X] Unica Platform
- 2 [X] Unica Campaign
- 3 [] Unica Interact
- 4 [] Unica Plan


Unica Plan をインストールし、Unica Campaign をインストールしない場合は、次のコマンドを入力します：
2,4

すると、選択したオプションが以下のリストのように表示されます。

- 1 [X] Unica Platform
- 2 [] Unica Campaign
- 3 [] Unica Interact
- 4 [X] Unica Plan

 **注:** Unica Platform のオプションは、既にインストール済みである場合を除いて、クリアしないでください。

4. Unica インストーラーにより、インストール・プロセス中に Unica Campaign インストーラーが開始されます。Unica Campaign インストーラーのコマンド・ライン・プロンプト・ウィンドウの指示に従ってください。
5. Unica Campaign インストーラーのコマンド・ライン・プロンプト・ウィンドウで quit を入力すると、ウィンドウはシャットダウンします。Unica インストーラーのコマンド・ライン・プロンプト・ウィンドウの指示に従って、Campaign のインストールを完了します。

 **注:** インストールの間にエラーが発生した場合、ログ・ファイルが生成されます。このログ・ファイルを表示するには、インストーラーを終了する必要があります。

サンプル応答ファイル

Unica のサイレント・インストールをセットアップするため、応答ファイルを作成する必要があります。応答ファイルを作成する際には、サンプル応答ファイルを利用できます。サンプル応答ファイルは、インストーラーの ResponseFiles 圧縮アーカイブに含まれています。

次の表には、サンプル応答ファイルに関する情報が示されています。

表 9. サンプル応答ファイルの説明

サンプル応答ファイル	説明
installer.properties	Unica スイート・インストーラーのサンプル応答ファイル。

表 9. サンプル応答ファイルの説明

(続く)


サンプル応答ファイル	説明
<code>installer_product initials and product version number.properties</code>	Unica インストーラーのサンプル応答ファイル。 例えば、 <code>installer_ucn.n.n.n.properties</code> (ここで、 <code>n.n.n.n</code> はバージョン番号) は、Unica Campaign インストーラーの応答ファイルです。 例えば、 <code>installer_umpn.n.n.n.properties</code> (ここで、 <code>n.n.n.n</code> はバージョン番号) は、Unica Platform インストーラーの応答ファイルです。
<code>installer_report pack initials, product initials, and version number.properties</code>	レポート・パック・インストーラーのサンプル応答ファイル。 例えば、 <code>installer_urpcn.n.n.n.properties</code> (<code>n.n.n.n</code> はバージョン番号) は、Unica Campaign レポート・パック・インストーラーの応答ファイルです。

インストールの完了

インストールが完了したら、IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition を構成する前に追加の手順を実行する必要があります。

インストール後、以下の手順を実行します。

1. インストール・ログでエラーがないか確認します。インストール・ログにエラーがない場合は、次の手順に進みます。
2. Linux システムでは、`ulimit` コマンドを実行して、許可されるプロセス数を増やす必要があります。変更内容が持続するように、Linux の始動にこのコマンドを追加します。

 **注:** Linux には処理の限界の問題があり、SPSS WebSphere Enterprise Application の開始を妨げたり、WebSphere Console を開いた時のエラーの原因になったりします。

例:


```
ulimit -n 8192
/opt/IBM/WebSphere/AppServer/bin/startServer.sh server1
```

3. WebSphere を開始します。

IBM SPSS Collaboration and Deployment Services Enterprise Application がリストされたのが分かるはずです。

Select	Name	Application Status
You can administer the following resources:		
<input type="checkbox"/>	Campaign	➔
<input type="checkbox"/>	IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 6.0	✖
<input type="checkbox"/>	KitchenTools_war	✖
<input type="checkbox"/>	MessageConnector	✖
<input type="checkbox"/>	QTFA_war	✖
<input type="checkbox"/>	TowneBankCallCenter_war	✖
<input type="checkbox"/>	TowneBank_war	✖
<input type="checkbox"/>	UMCallCenter_war	✖
<input type="checkbox"/>	UniBankCallCenter_war	✖
<input type="checkbox"/>	UniBank_war	✖
<input type="checkbox"/>	collaborate	✖
<input type="checkbox"/>	ibm-demo_war	✖
<input type="checkbox"/>	interactRT	➔
<input type="checkbox"/>	interactdemo_war	➔
<input type="checkbox"/>	plan	➔
<input type="checkbox"/>	siteproduit_war	✖
<input type="checkbox"/>	unica	➔
<input type="checkbox"/>	unicab2b_war	✖
<input type="checkbox"/>	unicamobile_war	✖

4. SPSS Deployment Manager を Windows ワークステーションにインストールします。

 **注:** SPSS Deployment Manager の Linux バージョンはありません。

Deployment Manager を構成する準備ができたときに、Listener が実行されている必要があります。実行されていない場合、ログイン資格情報が失敗します。必ずユーザー名 **admin** と、IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストール時に入力したパスワードを使用してください。

UNIX™ での IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition リスナー・プロセスの始動

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition が Windows™ にインストールされている場合、Modeler Server リスナー・プロセスは Windows™ サービスとして自動的に始動します。ただし、UNIX™ の場合は、手動でそのプロセスを始動する必要があります。

コマンド・プロンプトを開き、SPSS® Modeler Server のインストール・ディレクトリーに移動します。以下のコマンドを実行し、IBM® SPSS® Modeler Server を手動で始動および停止します。


- サーバーを始動するには、次を実行します。 `./modelersrv.sh start`
- サーバーの実行を停止するには、次の手順を実行します。 `./modelersrv.sh stop`

インストール後の IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition の構成

IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition のインストール完了後に IBM® Deployment Manager をインストールする必要があります。Deployment Manager を使用してサーバー接続およびリソース定義を作成します。これにより、Marketing Platform と IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition の間でシングル・サインオン機能が使用可能になります。

IBM® Deployment Manager のインストール後に、以下の接続を作成します。

- 管理対象サーバー接続
- コンテンツ・サーバー接続

 **注:** Deployment Manager for IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition は、Windows™ オペレーティング・システムでのみ使用でき、UNIX™ では使用できません。

管理対象サーバー接続の作成


Deployment Manager を使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition に管理対象サーバー接続を作成します。

管理対象サーバー接続を作成する前に Deployment Manager をインストールする必要があります。

管理対象サーバー接続を作成するには、以下のステップを実行します。

1. SPSS® の Deployment Manager を開きます。
2. 「ファイル」 > 「新規」 > 「管理対象サーバー接続」をクリックします。
3. 「名前」フィールドに、接続名を入力します。
4. 「サーバー URL」フィールドに、SPSS® が実装されているコンピューターの URL を入力します。

Unica Platform のデプロイに使用したのと同じサーバー名とポートを使用し、構成を保存します。

 **重要:** ポートは `http` または `https` (コンソール・ポートではない) にする必要があります。

例えば、`http://unicavmdemo:9080`

5. 「完了」をクリックします。

Deployment Manager の左側に接続名が表示されます。

コンテンツ・サーバー接続の作成


Deployment Manager を使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にコンテンツ・サーバー接続を作成します。

コンテンツ・サーバー接続を作成するには、以下のステップを実行します。

1. SPSS® の Deployment Manager を開きます。
2. 「ファイル」 > 「新規」 > 「コンテンツ・サーバー接続」 をクリックします。
3. 「名前」 フィールドに、接続名を入力します。

接続名は、管理対象サーバー接続用に入力したものと同名前を使用しなければなりません。

4. 「サーバー URL」 フィールドに、SPSS® が実装されているコンピューターの URL を入力します。
Unica Platform のデプロイに使用したものと同一サーバー名とポートを使用し、構成を保存します。

 **重要:** ポートは http または https (コンソール・ポートではない) にする必要があります。

例えば、http://unicavmdemo:9080

5. 「完了」 をクリックします。


Deployment Manager の左側に接続名が表示されます。

リソース定義の作成

Deployment Manager を使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にリソース定義を作成します。

リソース定義を作成するには、以下のステップを実行します。

1. SPSS® の Deployment Manager を開きます。
2. Deployment Manager で、「リソース定義」を展開します。「資格情報」を右クリックして、「新規」 > 「資格情報定義」をクリックします。
3. 「名前」フィールドに、modeler を入力し、「次へ」をクリックします。
4. 「ユーザー ID」、「パスワード」、および「パスワードの確認」フィールドに、オペレーティング・システムのユーザー名とパスワードを入力します。
5. 「セキュリティ・プロバイダー」フィールドは空白にします。
6. 「完了」をクリックします。
7. Deployment Manager で、「リソース定義」を展開します。「サーバー」を右クリックして、「新規」 > 「サーバー定義」をクリックします。
8. 「名前」フィールドに、modeler を入力します。
9. 「タイプ」リストから「Modeler Server」を選択し、「次へ」をクリックします。

 **注:** 「Modeler Server」がリストされていない場合は、Deployment Manager を終了して再始動します。Deployment Manager がサーバーから新しい構成をロードし、アプリケーションが更新中であることを示すメッセージが表示されます。

10. 「ホスト」フィールドに、SPSS® が実装されているコンピューターの名前を入力します。

例えば、usrInmarcous1.servername.yourcompany.com です。

11. 「ポート」フィールドに、デフォルト値が「28053」と表示されます。

❗ **重要:** 「ポート」フィールドの値は変更しないでください。

12. 「デフォルトのデータ・パス」に、オペレーティング・システムに基づいて、以下のいずれかのオプションを入力します。

オペレーティング・システム	デフォルトのデータ・パス
UNIX™ および Linux	/
Windows™	\ドライブ名と (c:\ など)

13. 「完了」をクリックします。

リソース定義の作成後に SPSS® サーバーを再始動します。次に、「Unica Campaign および IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition 統合ガイド」の構成に関する章に進みます。

Unica Campaign および Unica Optimize のアンインストール

Unica Campaign および Unica Optimize アンインストーラーを実行して、Unica Campaign および Unica Optimize をアンインストールします。アンインストーラーを実行すると、インストール・プロセスの間に作成されたファイルが削除されます。例えば、構成ファイル、インストーラーの登録情報、およびユーザー・データなどのファイルがコンピューターから削除されます。


Unica 製品をインストールする際、アンインストーラーが *Uninstall_Product* ディレクトリーに組み込まれます。*Product* は、製品の名前です。Windows™ の場合、「コントロール パネル」の「プログラムの追加と削除」リストへのエントリーの追加も行われます。

アンインストーラーを実行する代わりにインストール・ディレクトリーからファイルを手動で削除すると、後で製品を同じ場所に再インストールする場合にインストールが不完全になってしまう可能性があります。製品をアンインストールしても、そのデータベースは削除されません。アンインストーラーは、インストール中に作成されたデフォルト・ファイルのみを削除します。インストール後に作成または生成されたファイルはいずれも削除されません。

Campaign をアンインストールする際には、Unica 製品のアンインストールに関する一般的な手順のほかに、以下のガイドラインに従ってください。

- 同じ Unica Platform インストール済み環境を使用する複数の Unica Campaign ランタイム・インストール済み環境がある場合は、アンインストーラーを実行する前に、Unica Campaign ランタイム・ワークステーションのネットワーク接続を削除する必要があります。これを行わないと、その他すべての Unica Campaign ランタイム・インストール済み環境の構成データが Unica Platform からアンインストールされません。
- Unica Platform での登録解除の失敗に関するすべての警告は、無視しても問題ありません。
- 予防措置として、Unica Campaign をアンインストールする前に、構成のコピーをエクスポートすることができます。

- Unica Campaign 設計時環境をアンインストールする場合は、アンインストーラーを実行した後、手動で Unica Campaign を登録解除しなければならないことがあります。configtool ユーティリティを使用して、`full_path_to_Interact_DT_installation_directory\interactDT\conf\interact_navigation.xml` および `full_path_to_Interact_RT_installation_directory\conf\interact_navigation.xml` を登録解除します。

 **注:** UNIX™ の場合、Unica Campaign をインストールしたものと同一ユーザー・アカウントがアンインストーラーを実行する必要があります。

1. Unica Campaign Web アプリケーションを配置した場合、WebSphere® または WebLogic から Web アプリケーションを配置解除します。
2. Unica Campaign リスナーを停止します。
3. システム・テーブル・データベースから Unica Optimize テーブルを削除するには、Unica Campaign インストール済み環境の ddl ディレクトリーで、`aco_systab_drop.sql` スクリプトを実行します。製品インストール・ディレクトリーに ddl ディレクトリーが既存である場合、その ddl ディレクトリーに用意されているスクリプトを実行して、システム・テーブル・データベースからテーブルを削除します。
4. WebSphere® または WebLogic をシャットダウンします。
5. Campaign に関連するプロセスを停止します。
6. 製品インストール・ディレクトリーに ddl ディレクトリーが既存である場合、その ddl ディレクトリーに用意されているスクリプトを実行して、システム・テーブル・データベースからテーブルを削除します。
7. IBM SPSS® Modeler Collaboration and Deployment Service (C&DS) がアンインストールされていることを確認します。

インストール・マネージャーを開いて、C&DS がアンインストールされていることを確認します。C&DS がアンインストールされていない場合は、インストール・マネージャーを使用して C&DS をアンインストールしてください。

8. 以下のいずれかの手順を実行して Unica Campaign をアンインストールします。
 - `Uninstall_Product` ディレクトリー内に存在する Unica Campaign アンインストーラーをクリックします。アンインストーラーは、Unica Campaign および Attribution Modeler をインストールする際に使用したモードで実行します。
 - コンソール・モードを使用して Unica Campaign および Attribution Modeler をアンインストールする場合は、コマンド・ライン・ウィンドウで、アンインストーラーが存在するディレクトリーにナビゲートして、次のコマンドを実行します。

`Uninstall_Product -i console`

- UNIX™ 環境でアンインストール作業を行う場合、アンインストーラーが存在するディレクトリーにナビゲートして、以下のコマンドを実行して Unica Campaign をアンインストールします。


`./Uninstall\ Interaction\ History。`

 **注:** UNIX™ では、\ の後にスペースが必要です。

- サイレント・モードを使用して Unica Campaign および Attribution Modeler をアンインストールする場合は、コマンド・ライン・ウィンドウで、アンインストーラーが存在するディレクトリーにナビゲートして、次のコマンドを実行します。

Uninstall_Product -i silent

サイレント・モードを使用して Unica Campaign をアンインストールする場合、アンインストール・プロセスでは、ユーザーとの対話用のダイアログが表示されません。

 **注:** Unica Campaign のアンインストールに関するオプションを指定しなかった場合、アンインストーラーは、Unica Campaign のインストール時に使用されたモードで実行されます。